

岐阜県立岐阜総合学園高校で防災の伝え手育成の授業

～ 高校生が小・中学校の防災講座の先生に ～

4月22日（火）、岐阜県立岐阜総合学園高等学校で環境テクノロジー系列2年生25名に、防災の授業を行いました。昨年度に続いて2年目となる取組で、学校と連携して「防災インフルエンサー」を育成します。

水害から大切な命を守るため、これから地域の守り手となる土木系の科目を学ぶ生徒の、「守られる人から守る人へ」の意識改革を図り、地域の子どもたちへの防災の伝え手になることを目的に、伝え手育成のための授業を行うものです。

授業は7回（14時限）の実施を予定しており、9月以降に、実際に小・中学校において高校生が先生となって、児童・生徒に防災講座を行います。

今回はキックオフとして、学習の進め方や防災（水害）全般について、説明しました。

昨年度実際に防災講座を行った3年生が、今年度講座を行う2年生にその経験を伝授します。

